

目録見記

御政の物語を因て御名付

日光寺乃 奥三万の紙入
身延の奥津乃乃大の不動
身延の奥津乃乃大の不動
身延の奥津乃乃大の不動
身延の奥津乃乃大の不動

中仙乃乃乃乃 奉坂哉

特別
N3
3617
670





踏記目錄各誌後記後附

一 東海道 法皇皇后本坂越附より下敷乃

一 大坂より江戸之道 大坂から天津まで記是
奥附と大津の津波を記

一 本曾路

一 中仁乃 美濃より云 藝海入湯記

一 京より勢州系宮記 箱根七湯也記

一 江戸より勢州系宮記

一 京より多摩系宮記より大石出之道

一 名護屋より本曾路出より二水

一 本曾路より光寺記より大石出より

一 相列大石不動乃 押切より入るる也

一 日光之道の記 秋葉山風来も乃

一 甲別身延の記 奥津島園に記乃
郡内街乃

東海道巡覽記序

適百里若宿春釋道

の里二月辰釋道

をかし好むる東行乃志

し條さねる寺僧道

釋道乃くくといふ小

止ぬくくくくくくく

のまゝくくくくくく

小波身くくくくく



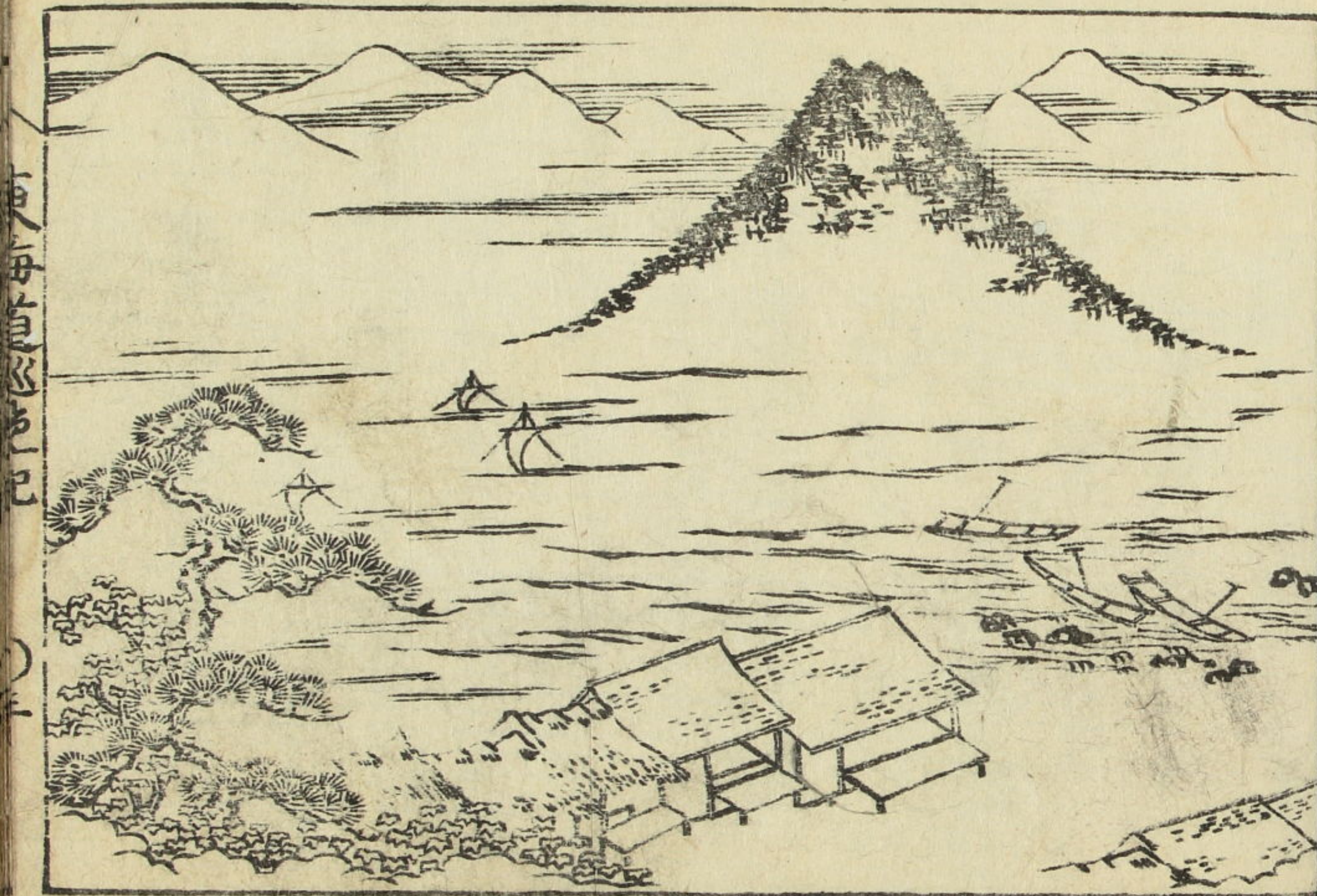
を清見の諸歌おろこの
~~明~~ 有るまゝあるはうらまを
 けし給ひたは程うらまの
 せん書あるもあつて
 流石の一抄を神ふ一
 ことと居ふ志あは書を
 印つけたり千里の山川と天
 小舟の許多の流るる
 舟中ふける甚く楽なる

こは小絶より古来有る
 への書物に之を母をいふ
 あるは流石にふけし旅
 けりたはけと流るる
 独遊書を聞くとあり
 夕纏るるはうらま
 ちのつる節を擲

近きし世体ある一高き

海下流るる





東海道



東海道

赤
の
の
の
園

の
の
の
の
の
の

の
の
の
の
の

凡例

一 今編高次村續三場体卷并一里塚
 亦近順に古へ並危旅りの神小持と
 並有やう小緋水にま前後と改む
 一名新志以神社佛圖城館古戰場表
 寺亦此名物産物其村の下に悉く
 我く歩在れ致致と改む

一 道筋城下の分城と并津役付を記せ
 一 名毎に及は古史記に接人乃知るに
 一 寄毎に及は馬乃回巻と記を尤當及改む
 一 又十二次人馬騎便舟便定は往來と改
 一 ば集上向と亦亦用と用也た改む
 一 村是山坂海川をそく人記を故と京の
 一 市ハ城より口へ順流とく一名不意松
 一 在り方と右と心人一録と純く

三場の印

▲ 下三場の平 ▲ 中下三場の
 △ 中三場の平 中 是の常より中下
 田中平のそかり

● 一里塚の平

一 東海道亦吾路及至介十二里の乃
 の凡好へ附と目録とあり
 一 月出入并汐の差引
 一 巻の奥小万平紙と八旅月の一冊

凡例終

大坂より大津迄の記

河津代久世出雲守 六万三千石

大坂 本町 三百廿文

又里 神尾 貳百廿文

牧方 本町 貳百文

三里 本町 百廿文

淀 本町 九拾文

伏見 本町 拾文

大津 本町 拾文

大坂より大津迄拾四里四町也

大坂守の二里八
里は石ありちハ
す小大坂の牧方
川あり伏見天
石の倉屋も立場
天智川下流に大
植上は河川あり
川帯あり揚葉立
場宿あり八幡十
淀大橋百廿一孫
小橋百廿一左成
丹後守拾万三千
石伏見より大津
伏見衣箱あり所
十町長保長あり
倉も大倉あり小
倉ありあり村も
ありありありあり
ありありありあり
ありありありあり
ありありありあり

補 東海道巡覽記

京より大津迄三里奈

道三

車馬 貳百九文

輕尻 百拾文

人足 百拾文

三條通鳥丸 鳥丸通三條上町場町也

理忠町 美奈所井所町中之町

三條小橋 橋の長廿四間三尺九寸幅三間五尺

中津町 旅人の泊る所也

三條大橋 橋の長廿七間三尺貳寸

水の上は川又河川も流る川
川其水上車馬の禁よりせし三
三條大橋河原に流れ伏見淀也

鴨の長明の寺に

る川やせがの小川に流るる

月と流るとありてそとむ

橋の東流も曲ると大和六浦と云

繩の町といひありえ緒名物あり

橋の寺東山名本願神社仏堂面

ありありとて佛の堂遙々人のり

橋結龍檀王山法橋つ用山堂寺大

一町や二町や三町や

松本町

さへく町分本町大井町

上る末田口八白川のもてりり

橋の長七間幅二間二尺橋の右

如徳院祇園は水六丈伸へあり

銀多る橋の緒三庚申を渡り

そ途の橋子社あり西町

右も蓮院山門跡

いもこ栗田口橋より東橋といひ

右栗田口の天王といひ大龍王社

たふ谷るを南禅寺永観寺

吉田寺如堂上下堂系へ通く

分本町西小橋町

四宮川

横本

通分村

かすら鼻

二里塚

城別江別國境

大谷

遠坂山

坂下

小坂

石橋四宮川系油くをいひ

らん人康親と云ふの日記あり

下り立湯といふはこゝなりと云

左小園鉄道三井寺よりなる

けり大津橋名也字世又平末流りれは

右に流るるを北橋と云ふは

いふことと長町といふ

商人といふ

たけ川橋本をいひんやる上あり

たけの上障九丈の村といふ

右二両をいふと云ふは

之をいひて下り立湯といふ

者といふは

そらうゆりといふは

是れ小川のたけのあり

片本町と云ふ園と小町

左と云ふ大の神社あり

左園明神といふは

園の小川といふは

あふ坂の園といふは

右今集

大津より草津迄三町三丁

に 式百拾九文 同 古中孫氏所
物百拾九文 同 古中助氏所
人百九文

八町 古中町を八町と云ふ
左(曲)三井の高敷街道
右(平)道右の古中町と云

京町 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

●一里塚 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

石場 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

矢野村 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

番場村 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

義仲寺 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

とろ川 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

膳所 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

膳所城 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

文の寺 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

本下 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

中大 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

中下 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

宮町 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

釘縄 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

栗津原 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

●一里塚 古中町六の神に徳天皇と云ふ
榎本

高井川村

神靈の社大王子長社也

勢田橋

長井寺間大橋は勢田一里半

月大橋

長井橋の南向橋は神原社儀若大

橋緒町

橋緒を名づくるは下三三三

新庄

三回三常や

中野原

おの本山也

大江村

辺江村の東は長井寺也

大野新田

大野新田

一里塚

一里塚の地あり

月輪新田

月輪新田の地あり

大かめ茶や

大かめ茶也

大りめ川

大りめ川は水は右大池也

野路村

左野路の古水は左の里いさか

一里塚

一里塚の地あり

矢倉

矢倉の地あり

草津より右部三里半七町 道下

列に栗

本 百拾七文
明 百拾八文
人 九拾文

宿

正位本太の神

道分

右曲れ東街道の

東海道巡遊記

若津川 ありしに天鏡き水場と云然川と
公全勝三河下り目川と云

新巻村 左近野井村より土屋をたて
小巻をいふ云

上野巻村 左小垣村の土屋をたて
左近小女布之云

岡村 是利不我尚添中より病氣かりぬ味
いぬひい此れはく夢いふいしと云

目川村 かのいそんくふ河川の尾より云
名西有や下りしもの立場に
榎本

●一里塚 榎本
みづいしに中

本塚村 川はりの地を

川面村 小川がま

ゆり川 けしこりこと事

釣里村 是利義尚添を榎本に對する
ごころなり

中 女守村 左近野井はら

小野村 左小野寺をいふ人道

梅木村 和申敷茶店五の部よりいふ
左近也と云ふ立場に

●一里塚 榎本は久保と云ふ名あり

六地蔵村 左三ついふ古里と云ふのり
ゆりのいふ所なり此村と榎本に

拾遺 左早振みよしのの榎本に
いふといふ名ありと云ふ
能宣

上野村 又神降とも云
九三丁入新井史寺

林村

三野村

伊規村

金山村 左京街道街道の左と榎本川水流
ありと云ふ川と云ふ入りの名あり

今のところハヤ此れをいふ今此
乃公年といふこと下る八町と云

右部より水はと三里十武町 道

本百八拾九文 同
極百七拾文 至
人九拾文 至
小右部
表内
管方
順方

馬立場 せり立場なり

●二里塚 上宮吉永大明神
下宮吉永大明神
下り立場なり

東立場 砂川之川下白知大明神

白知川 砂川之川下白知大明神

榎家村 砂川之川下白知大明神

平松村 砂川之川下白知大明神

針村 砂川之川下白知大明神

甚見村 砂川之川下白知大明神

●一里塚 砂川之川下白知大明神

吉長村 砂川之川下白知大明神

中三雲村 砂川之川下白知大明神

阿ノ川 砂川之川下白知大明神

田川村 砂川之川下白知大明神

横田川 砂川之川下白知大明神

●一里塚 砂川之川下白知大明神

泉村 砂川之川下白知大明神

小脇 砂川之川下白知大明神

馬場光村 砂川之川下白知大明神

●一里塚 砂川之川下白知大明神

東海道

鈴鹿大控現 坂のり口たゞ社あり社の

鈴の川 比川或は右流或は左へ流す或は

九町 やまのの原をたゞり三きりなり

一里塚 左山の岡に流石をんり三井

坂下より園と一里半 道より

本百又拾五文 同左

九拾又文 大竹金持の

宿 むすの坂下にありし。まき三年九月

鬼宿 名の岡に橋を有るに左に橋はあり

柴取 小名に

智掛村 春の岡野光堂名お

が此本 小名に

中一里塚 右に根九の日女天は女又天は

新茶也 持神等次ふし世に云々名は

一瀬川 坂の原の橋

伊加多入和道 石板の面三題目彫て

園より鬼山と一里半 道より

本九拾又文 同左

川北久吉の

人日拾六文

立場

上ノリ立場古名曰南縁なる古名也
例ニ此名内火絶名也

宿

左敷名寺在園内流石其基依山園内
正西ノ人形其園中も在園ニ古名上園也

●一里塚

振本
流石山田十四里

太神宮系官道

大なる系と大煙草二
つ首常燈也

小野村

又此の町と云
右流石

園川

板ノ十四間計九をらんん月
左折を山

大園繞

云々の間十八間大服園川流
左山張る大園と有るらんん月

落汁橋

板ノ一

落汁村

らんん月

中野尻村

のき村能古村

徳吉茶屋

上下立場茶屋の向う右に徳吉茶
屋有る也此の内なり

●一里塚

振本

野村

飛山より左野と二里

本石拾文

七拾文

人又拾文

同右

右林又立場
樋口左立場

西立場

入口橋と
新町と云ふらんん月立場と云

城主右河宗十郎六万石

東立場

新町と云ふらんん月立場と云

東の村

右城江系らんん月と云

●一里塚

振本が板と

和田野村

右神ノ白子乃みねと
右東川合のちの北を題目保

川合村

小古池の跡

川合川

開長寺川

海老持

大橋十二里

小田村

丸寺会仏

泉村

泉川

板橋七十石尾をいんを流る川

西富田村

右寺社街道は泉川に建

中富田村

今八社

森下

中富田の内上下と湯之茶や坂

一里塚

榎下尾山領

吸川原

庄野より石薬師と云拾七所

本口拾八又

同左

榎三拾又

又川字七

人九又

長谷拾十

宿

山石燈茶名和世小茶燈

庄野川

ちり字方余人の山弘法の四

高野村

高野川に柳のま

中ノ外紀村

一里塚

榎本

植野村

たしと我我をさすといふ

石薬師

石薬師寺と云南面石といふ

澄彫利一法小寺の向は生あり

石薬師より四日市と式部式拾七町

部 康 統 列 藩

本百六拾九文

回各

通

町百九文
人七拾九文

基田石を束
長田市石を束

西立湯

宿

左目付成り所陸道右脚者
右町敷七八町

東立湯

下立湯
いさ鞠之系と云名所也

大谷村

去りし者七八九町計取あり
右八八八ん山いしと云名所也

小谷村

右方十二町と云名所也
左の四段掛懸=飲水と云名所あり

清水谷村

松本

一里塚

是々三その郡

杖尾村

去りし者七八九町計取あり
作此巻巻

杖尾坂

右立杖尾村が武蔵の名家と云名所也

宋女村

去りし者七八九町計取あり

校つき川

校尾去り拾五町あり
泉ありと云名所也

田中

右名所あり

小藪

小右衛門村

左京市豊島川 右立一里七丁
右神田文

太神宮森宮道

右西より江戸まで
と世津への道なり

追分村

豊頭名所川四日市へ又十町あり
去りし者七八九町計取あり

日永村

紀列
下立湯と云名所あり

一里塚

右松本
左松本の内神明文と云名所あり

一里塚

右松本
左松本と云名所あり

三人水

おとしのり

よしのり

よしのり

四人水

おとしのり

よしのり

五人水

おとしのり

よしのり

六人水

おとしのり

よしのり

よしのり

計費百拾九文

六百三拾九文

を費九文

計費百拾八文

七百六拾七文

を費九文

計費百拾七文

七百六拾七文

計費百拾六文

七百六拾七文

計費百拾五文

七百六拾七文

計費百拾四文

七百六拾七文

四日市川

東立場

下立場より東面まは海路五十町
となくも海といふ所の初とふ
うらう川村友方川

七つ巻

かいざり

三つ巻

二つ巻

一里塚

とげ村

けの八幡

なば川

養福村

一里塚

東五田

東海道延暦記

七つ巻のり川と云

三つ巻のり山領
つたかか約大わす領

二つ巻のり村

一里塚のり部

とげ村のり神社を并々
街道傍ふさまをりるを

けの八幡のり

なば川のり

養福村のり
左田中流に極ゆるを

一里塚のり

東五田のり
校舎名を上下立場を
かろのりをりるをりるを

松茸村 名田まのり
りま湯

朝霧村 朝霧と書

中朝霧川 古語五十間
是の川の神
千川のおおし
ゆ水

かき村 甲川福屋入平 云々のたげ

おぬけ 名々のうらりし村の文
左右の竹下り立場

●一里塚 名々のたげ
大平路道中一里見

橋村 名々のたげ
たげのたげ

町屋川 板橋と名給る小橋より渡田信雄
と名給る河原よりと名給る

安永村 名々のたげ
名々のたげ

大福村 大門と名給る
福得町

名々のたげ
下り立場

素名より宮と海上七里

天武天皇は春日の社に祈りて
八月十日神事也給ふと名給る
中斷と名給る
名々のたげ

城之松平下郷守拾万石

海上 八海之郷列尾列尾のり
中五里名給る

松茸

丹波名給る
名々のたげ
大塚松茸

船橋

名々のたげ
名々のたげ
名々のたげ
名々のたげ
名々のたげ

舟名列

東海道通記

何れもその

八拾四又 一人分

五斗

七拾貳又

五斗

百三拾又

五斗

百六拾七又

長持

三人分

通

三人分

増水

百七又

三人水

七拾五又

三拾五又

四人水

七拾五又

四拾五又

日

七拾五又

日

百八拾七又

日

九百七拾八又

日

三百六拾又

日

七百九拾九又

日

三百九拾又

三人水

七拾五又

四拾五又

日

七拾五又

日

八百四拾八又

日

八百六拾又

日

七拾五又

日

九百六拾又

日

百七拾七又

三人水

七拾五又

四拾五又

日

九百六拾又

日

六百三拾又

日

七拾五又

日

八百七拾七又

日

七拾五又

日

八百三拾又

三人水

七拾五又

四拾五又

風

雨

雪

霜

露

雲

霧

虹

霓

電

雷

雹

雪

霜

い道の内百湯岩湯と人足とを既述有月の午
八時より百湯岩湯の湯山越て二人の舟を同月
の午有湯湯と人足のい道有湯岩湯九時より記也

佐倉と、船賃 佐倉より 山田あり
素名より佐倉の川舟三里 佐倉より素名

素名を老人 拾九文
二人水三二里八人素 四百廿一文
三人水三二里拾九人素 六百廿拾文
四人水三二里廿八人素 七百拾八文
五人水三二里廿九人素 九百廿九文
六人水三二里三拾人素 一千零七拾七文

佐倉と神守の素名守九丁 四丁より素名
凡町斗りまきと素名守八丁
はゆ牛次と素名守三丁
右の目ま川と素名守二丁
右の市村と素名守一丁
一里路 山田あり

神守と方場に 素名守九丁 素名
下由川板と素名守八丁
板り八丁二里路板り二丁
下砂子村と素名守七丁
下砂子村と素名守六丁
下砂子村と素名守五丁
下砂子村と素名守四丁
下砂子村と素名守三丁
下砂子村と素名守二丁
下砂子村と素名守一丁

方場と岩湯の湯山越て二人の舟を
本式拾九文
廿七拾五文
人拾九文
人拾九文

方場と岩湯の湯山越て二人の舟を
本式拾九文
廿七拾五文
人拾九文
人拾九文

岩湯と素名の湯山越て二人の舟を
本式拾九文
廿七拾五文
人拾九文
人拾九文

素名と佐倉の湯山越て二人の舟を
本式拾九文
廿七拾五文
人拾九文
人拾九文

東海道巡遊記

田島橋

板橋サカサカ大早良の海防と申す
少信四らマニ所ニテ

此今昔 少信の事一ありて此の地は
いざいざい海邊を治めしむるに
此所の所長の方と野に云々ありて
多岐青川の傍ら又二重塔ニ云々ありて
此所の地を治めしむるに
此所の地を治めしむるに
此所の地を治めしむるに

西立場

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

東立場

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

有松村

又此の町に云々ありて
此所の地を治めしむるに

落谷村

右今川殿元孫有松取替と云
此所の地を治めしむるに

長江村

此所の地を治めしむるに
又此の町に云々ありて

阿の坂

又此の町に云々ありて
此所の地を治めしむるに

阿志川

板橋十々
此所の地を治めしむるに

宿

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

西立場

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

東立場

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

大神宮

此所の地を治めしむるに
又此の町に云々ありて

一里塚

右此の町に云々ありて
此所の地を治めしむるに

有松村

又此の町に云々ありて
此所の地を治めしむるに

落谷村

右今川殿元孫有松取替と云
此所の地を治めしむるに

長江村

此所の地を治めしむるに
又此の町に云々ありて

阿の坂

又此の町に云々ありて
此所の地を治めしむるに

阿志川

板橋十々
此所の地を治めしむるに

宿

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

西立場

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

東立場

正一位鳴海大明神社
いざいざい海邊を治めしむるに

●一里塚 榎木

あけ橋 板七にて式不才

阿野村 川のほとり云
水尻名あり

三原集鏡 玉徳川 左橋は橋本と云
橋本尾列集鏡二列の末集鏡合も也

今川村 小川有山村小川の吹野を流るや
やまの坂より流る一山あり

今岡村 下り立湯あり
名西ヤニあり

一里山村

●一里塚 右榎木左榎

池裡新より園崎と三里新

本武百三拾文 園全 永田孫左衛門
大村云々

明百八拾文
人百拾六文

今池裡新大橋 大橋寺あり又一本
小川大橋と云ふ

西立場 新立場と云ふ
新立場と云ふ

宿 新立場と云ふ
二万三千

東立場

●一里塚 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

●一里塚 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

東立場 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

今川村 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

今岡村 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

一里山村 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

一里塚 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

あけ橋 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

阿野村 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

三原集鏡 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

今川村 下り立湯のりて
毎年四月より五月まで
九月山を登りて
八橋の傍り小川あり

御池村

右村西の池に有
右村池

大濱村

是より長崎領

大濱寺

上川下り立湯
右村母海通名あり

一里塚

右後本
左村

尾崎

立寄り村より中ん松
ころもの里に白木整

持江村

右名古を道七里より平升
二ヶ所あり

うま坂

呉戸

西矢地

天橋矢野日中武吉
の阿いあり矢地とせ

東矢地

右十王寺津邊
と云

一里塚

右村大木
と云

矢野橋

右村橋の長サ
ありけ申を二河の

三石類

本百又又 田

かろ拾六文
人又拾五文

城之本多平八郎 六万石

松葉橋

右村松葉橋
は松と松の

宿

右村松葉橋
東出の町

投町

右尾へあり
西尾

くけの

右村くけの
二万三千石

筋野橋 長修の石

大平村 やうき場あり

●一里塚 松

大平小橋 七拾七合身

中門大橋 橋は武田河川より入る川に

生田橋 橋は武田河川のそとに

生田村 左に山あり 街道はたの川を合流して長

かんも橋 下りて場

松原橋 松原より入る 右西尾通里

松原の松 松原より入る

●一里塚 松

藤川より赤坂三里九町

石三 本百八拾九文 同

田 〇百六文 八

△西立場 やうき場あり

宿 丸山赤山大のけ 川邊やうき場あり

東立場 下りて場あり

桑木村 桑木より赤坂の山あり

市場橋 橋は川に

山中村 桑木より赤坂の山あり

中葉

桐の末

元宮村

此村有八幡宮の石は古くありて西三河より二河の境なり

一里塚

此村のやまの頂にありて昔は二河の境なり

室宿村

此村は古くは室宿の郷なり

菅原村

今川家の家老の菅原氏の郷なり

長沢村

板屋の村なり

岡屋村

板屋の村なり

式門村

右に式門の跡あり

二里塚

右に二里塚の跡あり

赤坂より沼田と十六町

本三拾文

人拾文

本下茶屋

宿

赤坂温泉

沼田より吉田と式里と四町

本百拾文

人七拾文

五井橋

かきや

板屋の村なり... 沼田より吉田と式里と四町... 本百拾文... 人七拾文... 五井橋... かきや

●一里塚

板本 風来寺道 油湊

三河守

左五府大内侍 右三場三下り太次佐治の名也

國府

左十町 右十町 此は三河の民ありて けしはの我うわらけり 佐子うな

石橋

小橋ありいり 右府と小田園の 口の橋なり

雷園

八枚橋

板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本

橋町

板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本

か

三草の口

小坂井ト草草草三つ分とて 三草の口 板本 板本

●一里塚

板本 板本

中い水村

茶屋町

右長寺散まお店 一里半

岩村

小坂井村

坂下を免思へん風文社九十三石 土目風のふし云云板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本

芝橋

板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本 板本

高橋

板本 板本

下又井

右五井之河とせり 右五井之河とせり

あし橋

板本 板本

柳橋

板本 板本

と川

板本 板本

下坂村

板本 板本

●一里塚

板本 板本

高下り二川一里也
いりなり松平本庄に
在りて者八合指し定む

班 本百拾石又

同合

八名 七拾石又

田中藩と申

郡 人又拾石又

孫氏也

松平春之丞 七万石

大橋

宿

新町

町

山中橋

中 一里塚

少善村

大岩村

三川

三列 本百石又

西立場

東立場

一里塚

一里塚

中

東海道

一里塚

一里塚

一里塚

一里塚

一里塚

長井一里井は山川と並川と三川の二つは
同じ流別川流に異なりその間に
八合指し定むは昔より昔より
大橋大橋は二拾石

東に下ればこの所は西の角ふかくら
あきると名前のやうな上り立場
左の方面に連本村と

山崎川を右に巻く山ありて
てきりあり林ありて
右に松林と橋ありて
右に松林と橋ありて

上立場云橋有松林ありて
右に松林と橋ありて
切中しりしりあり

まの所と云大岩村あり
むり橋ありて
中より大岩村あり

いりなり
十合指し定む
同合

後後七合
即林氏也

八合五の所あり
左に松林と橋あり

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

松平本庄
此一里乃同松の并本庄
源流は山川の上におき

一里山村

右田系山々あり

三洲遠列國塚

境あり

境川

板より一六

藤の傷

カハリウモ

白次加多り其并二里五六町

名後 本百又

名後 人又拾又

富

垣見坂

元白次坂

一里塚

河村

中茂野

篠原野

橋本村

立場

荒井の森坂と海上一里

舟一艘三重拾交二つが舟と
三つあり一舟を舟と入れ二艘
此舟見刻谷の坊中四拾八丈

●一里塚 石塚尾

下五場二 御番所と下旗人土切子江改

御番所 御番所三列若田城

海と 松平春之丞 若原地守り、島根公を松平源七

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

●一里塚 石塚尾 二拾町 道のり

七軒町

入夏 十の内に三軒町の神社久三石
左五法の 法久二石

城主井上河内守六石

宿

東の宿町より三ヶ所川二里四
ひりいしとてしるは事と云いと云

馬込橋

板七七間 法久二石河内守口村
是之橋は橋村より三ヶ所川より

一里塚

橋本
右に

天神村

やうがき立場

植松村

九里才とて味方本夜家陽也

六間茶也

右藤村十右衛門よりとてかむ纏ふと云

永田村

右河神の表社領三石村蒲井守
云はるる此子孫と云ふ

橋場村

橋場と書左子孫と云はは石宗
妙有也

茶師田

左と書るは茶師田と云ふなり
やうがき立場や云ふ茶師田と云ふ

安間村

松ら橋下り草を
榎木

一里塚

左中取然なる三列は油の四か
わきとて云はは是々十四里と奥迄流す

かやんど

所は村は云ふ京は下の子中にて
川は古道と云

中の町

此の村の間は川は古道の各節と云

一色村

大小の四ヶ所と云ふ村は是れ然

夏田市

左に中取一色と云ふ今二色は是れ其也
法方の内なる是れ長道に云ふは中川の
昔は名をとりて今も是湯茶や云ふ

中 天竜川

左に附の近道は湯谷田法あり
云ふとて有

池田宿

左に附の近道は湯谷田法あり
云ふとて有

くすま

くすまの橋と云ふ

小立野村

左に附の近道は湯谷田法あり
云ふとて有

長森村

左に附の近道は湯谷田法あり
云ふとて有

東海道通志

栗下村 左神の社に板より四一色を煮く
村邊に丸舟を天文

文の一色板より四一色細なる池田(足)

●一里塚 榎本

万徳村 此邊に万徳の地といふ左の塚
あり万徳の板より一

板橋 是と云ふ新川といふ川に一色
村あり天流といふ

大寺院村 上り立場之大寺院に板よりか
びり板あり 河原に在り

中泉村 天をまゝいさ遠の酒蔵に在り
左に分寺ありまを系作たふ人の社

境松村 法然寺を裏に今の浦に云はれ
名に

見附より袋井と一里塚 通より

廿九拾又

田名 人拾又

宿 丸の塚 丸の塚に神あり
一公を乃魚丸の神の社あり

東坂 中橋を板より上り立場より切や
橋本や立味り板の云々をいふ

●一里塚 橋本と町に先大神社を乗車の
満よかち神と云

見附産 いりり返るに板より二色を煮く
昨日の返りもいふ

三本村

交保村 大久保川を水より又山伏川といふ

之香瑞村 今此坂の二色を煮く
と云ふ満より

甲 みる坂 左に

足元橋 四十七の板より

西河 左十町にいま小黒村に在り
左に合板といふ今をいふ

本原村 左に徳地を板より上り
若武田を道に云ふといふ

東海道志紀

●一里塚 松坂本より

河合村 左久野村より可隆寺あり古蹟あり
又遠くは洞窟洞宗あり

袋井より掛川迄式軍拾六丁 道

石 本百に於て 四合 九合あり

山 九合あり 大田八合あり

川合橋 板十一

上下立場 西の入り

宿 町中の宿あり

西の谷 左油山より道あり

東の谷 左油山より道あり

沓の右側名村

沓の村 左油山より道あり 観妙山

●一里塚 松坂本より

かたがた村 左油山より道あり

くまの川 左油山より道あり

くまの川 左油山より道あり

くまの川 左油山より道あり

くまの川 左油山より道あり

くまの川 左油山より道あり

くまの川 左油山より道あり

●一里塚 松坂本より

くまの川 左油山より道あり

大池村

小橋を隔てて秋山といふ山あり

二瀬川村

石小笠原系と八坂古儀と小笠原といふ二ヶ所の村あり

二瀬川

古儀或は同方池と傳ふもいふ

瀬の三村

掛川より日坂迄一里廿九町 道なり

下り

四巻

本百拾五文

川六拾九文

藤系

小川表あり

上り

人八拾五文

か七拾九文

人六拾五文

城之太田備後守 方三十七石余

十九町

下り立湯あり

大塚町

布の紋より定家名の下坂京飛渡と

一里塚

ね木東のこころれ新町といふ

馬喰橋

去りて二回なり

けふ町

成瀬村

成行とも書つてもいふ

菅根村

中よりと云土橋あり

小笠原村

上り立湯あり ありと書さる

中本左村

岩橋

土橋

大泉村

小島と訪ぬらうと云わすれり

ぬめり村

是より掛川傾ぬめり川あり

東海道通記

金登より沼田二里 道甚ワカ

本百六拾文 河村守重

人七拾文 山田久吉

川原橋 本町

横山橋 公三郎

金原三郎 藤原

川村善吉 久七

金原橋 志保より二里

一里塚 吟味候 本村格次

松倉橋 志保より下り立場

宿 本井川少前川色尾

清水橋 拾七番又川九十八文

教谷

おきる橋 十六

一う湯

八間石

分石橋 十番大井川

大井川 甲州の奥より流る

遠列渡り境 大井川

中二軒石 沙倉

甚き湯

見ゆべきをさしゆり

東海道通記

八新登

向海

又中津と云海田の事と云云
今中津と云ふ

海田より右に八町道

本百六拾に文

四百

七五五

千七百九文

川原

根新新
根村

八石立場

支の事と云

宿

元正二位井大明神
神の九月十八日

古の事

一里塚

左汁榎木

東立場

下立場あり

出橋

新ちんちん

出橋

右東と云井左の井の流
此井の二つあり

山村

土橋より山

道悦村

見舟

是より田中石橋

一里塚

榎木

新登橋

土橋を川又と云く
是より山あり

青島村

上下立場
三つあり

中瀬戸

瀬原

左海田の瀬原地田の中
左瀬原地比

水の上

左水江の池

曲山

南河

杉本橋

杉本川村
左まど村

一里塚

瀬元川

若枝より岡部を一里廿九町

川原町

家

田中城

水守

八幡村

おの橋

一里塚

鬼島村

玉府橋

横打橋

横打村

八幡村

横打橋

横打村

八幡村

横打橋

八幡村

南河

杉本川村
左まど村

一里塚

瀬元川

若枝より岡部を一里廿九町

川原町

家

田中城

水守

八幡村

おの橋

一里塚

鬼島村

玉府橋

横打橋

横打村

八幡村

横打橋

横打村

八幡村

横打橋

八幡村

岡部より九子と二里 いら山道なる

本武百に又 同也

人百武又 古志の

新町 入口あり

小坂の妻 のわり下り立場あり

宿 畠約川古橋之末の切しあり

十石坂 左の杉親をたどり

●一里塚 榎木古井あり

長谷坂 中比野分寺徳地川

乃人うや

横巻村 右湯谷の細る四枚丸鼻丸地

湯谷口 坂やうにた谷の

中

切通の系 又赤牛村

矢の尻 又赤牛村

●一里塚 榎木石斗の

さか川

切通の系

矢の尻

赤牛谷

二里塚

本宿

東海道巡遊記

丸子より府中三二里半 道一

本百於九文 四百

人七於九文 日七於九文

丸子橋 合宿橋より右方山三町入道有

西魚場 上り下りとも立湯ニ丸を穿る

宿 東立湯 村の森のたのしみも御送ハ松

●一里塚 榎本

中さうり村

依波橋

延享二年夏は水もい雨ハ川

せうい 榎本

多越村 多越の子はあいつ村もその時と

安川 引きさういを直い多七八町以上

川 多七八町以上

川 多七八町以上

川 多七八町以上

川 多七八町以上

府中より江尻迄二里廿七町

本百於九文 四百

人七於九文 日七於九文

川 多七八町以上

川 多七八町以上

東海道

●一里塚

横本了谷河の
人魚塚云々

河城代 武田越前守 五千三百石

富吉屋間宮

町元山と越前守の時五郎の事
成りぬれりれり云々

富

六石石を煮るの事云々
たるる云々

横田

富細工業本細工の事云々
若狭子其の事云々

狐

狐の事云々
狐は水くまん道名云々

かた

かたの事云々
かたは久保の事云々

長沼

長沼の事云々

●一里塚

横本

古在橋

古在橋の事云々

古在村

古在村の事云々

栗原村

栗原村の事云々

中国吉田

中国吉田の事云々

小吉田村

小吉田村の事云々

小田村

小田村の事云々

若狭村

若狭村の事云々

一里山

一里山の事云々

●一里塚

一里塚の事云々

若狭村

若狭村の事云々

若狭村

若狭村の事云々

若狭村

若狭村の事云々

若狭村

若狭村の事云々

若狭村

若狭村の事云々

平川地

在院。他人地のまにこのまに
池よりとまじき故、東とも云
板より

追分橋

追分村

右支那橋かゝる保の村、川橋水
とて、ゆゑに一里三町に
あり

江尻より

具津迄一里三町
あり

巴川

有るが
巴川系

河川

巴川系

巴川系
河川系
人とのた文

河川系
河川系
河川系

西五端

いかに河より五端に
あり

巴川

橋とて、橋より二拾石橋流り
橋より保たして、右有一里系
いかに河は、いかに河

宿

竹永系、河系、心丹名
あり

東五端

下り五端あり
あり

一里塚

橋あり、河系、心丹名
あり

河系

東五端

右橋より保の村、心丹名
あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

河系

河系、心丹名、あり

宿

石の門を小法花宗が自營りて是が軍
列身道心道子守之者真に神附

東立場

真は由井とは道中第一の風景
なり常盤歌及ぶたきりあり盤石

一里塚

九折末右より一里内光山石塔寺
石塔見ゆなり

湯とくし月ふの泉は川

名事

たきり勢もあつらん

水塚

真津川

石のくまをたき神の意をたき
いさくぬえの候と云浦田川より

河村

神のついでふ石に三塔をたき
神の浦と云をたき

薩摩山

海しよ運信屋の傍と云坂のた
いけ下をたき親おこし

山神

と云者下道と云中道道通り
今上道と云の樹をたき中道の

二里塚

上り小り踏まり流と云系や
をたきたき作徳花堂をたき

西倉澤

たきたき山今川の上流に
上下立場よりきよは焼名お休を

東倉沢

はと川橋あまの貝と云新や
たきたきたきり右田子に浦

寺尾村

乃とたきお見ゆる天王社
新田子の浦と云と云は白妙の

たけ村

在天津のふと云
許の内と云小島を

今宿

たきたき谷川泉川と云右三泉の
赤と云かこりくるあまをたき

町倉原

たきたきと云をたき科十をたき
あまをたき

石川

板のりきと云之川上天津を
林香寺十三をたき山神をたき

舟倉

北田村のふと云をたき

由井より浦原と云里

いりたか

上日都

本又た九文

同全

後云た九文

由比

志遠はま

人サ九文

東海道志

由井川

川は水清くわらび
由井川 由井油行 由膳 湯屋と書

右立場

左八幡社 今ハ神石と
文向堂の裏山ニあり

宿

由井川の役回をみる

東立場

新町ニ云
蒲原と云 筑後と云 地焼ニ

●一里塚

右塚本 左本あり
かた村ありあり

切人の村

久米川 田舎村と云

せき沢村

是を人々と云
久保ともいふと云

かた沢村

坂と云

中村

こゝ孫

新田村

かた村あり

向田川

向田村

左ハ徳影と云 仲尾と云 渡依と云
黄巻と云 城あり

新田村

蒲原より吉原迄二里世町 道中砂

市式百廿九文

同分 土物と云
草巻と云

人百八文

漆畑と云

宿

少く立湯と云 しの川

宿

市より川と一里八丁 草巻

東立場

高岡と云 市より川と云 鹿

●一里塚

松木

三軒瓦

川 役人 西 名主 東 名主 下 侍 中 侍 由 去

七かん坂

尾長後継水とてはありし事
 あり

中野

中野の古名は中野と云はれり
 小池村と云はれり

小池村

新町にありし事

小池橋

橋より七かんの事

中のつ

ひり小つたをとりし事
 は修りし事と云はれり

●一里塚

一里塚

岩淵

岩の村よりあり

柚澤

川端にありし事

飯七川

乃中一飯の事

松岡村

川上ありし事

新町

川上ありし事

かこり下

川下ありし事

柚の木

柚の木

平垣

平垣

本市場

又川田ありし事

●一里塚

一里塚

まの末

まの末

河原宿

河原宿

ふかい川

是橋ありし事

高橋

高橋

善徳

善徳

所々町

所々町

東海道巡遊記

卷六

吉原より原迄二里六町

砂地なり

郡士五列陸

本百七拾三又
人百拾三又
八拾三又

四巻

野口孫三
村井七右衛門

西立場

上下立場ニ在テ各々へ道ニシテ
山多ク道狭ク其ノ道中ニ
延寶八〇八月廿日頃
流ルルヨリ天和二年山岳崩れ
下ノ家ニ立ルルヨリ

東立場

和川ノ水ニテ一カガリ

元橋

又依野村ト云
古河老翁傳説ノ住リ

十町た糸

板橋相橋正去サレテ
と云フ也此橋ノ橋ノ形
冷川村上立場ノ山岳崩

元吉系

右香久ニ由リ寺右墨田ヨリ

四つ倉

今井トモ向東立云
此道ノノリトモ
禁二一月ノノリトモ

大形新田

田中新田

飯士山

日身才一ノ名ニシテ
凡ノ方ニ相列スル
ノリトモ

二里塚

此ノ名ニシテ
上下立場ノ名ニシテ
此ノ系ノ名ニシテ

中柏原

右字傳説トモ
元衣ノ子トモ

追分柏原

右字傳説トモ
元衣ノ子トモ

植田新田 左の山に寺ありて修りて森と云ふこと足らぬ明神の社と云ふこと

駒平齋

一本松 下、立場人最東浦より要るる浮舟の邊中二宿ありて舟の女舟

●一里塚 榎木

同左新田

原より浜津に一里半 比り中なる

後那 本八十八文

河後 本五十七文 比り中なる 後邊に在り

●西立場 比内所た新町と云

宿

●東立場 下、立場費用立場より下と云

三本松

今沢村 左方の徳山無むるはり成今川比新徳と云ふ長十一年改新と云

松長村 構と云ふたと云はり又松形と云ふ蓮相と云ふはりたかたらと云

●一里塚 榎木

中大諏訪 昔津法延寺と云ふ内文

▲立場 上下立場のあきほの、まやと云

小諏訪 諏訪大明神と云

西河村 左の山に社ありと云

東河門 右一町斗入九子神社延在り

五五田 右の山の松林ありて昔はいありと云ふありて比に古代は

比り保有東一の里と云明道記に八分は比のまより浜津の方と云ふはり人の内と云

浪津より之邊近一里許 道一

本八拾八文 同登

又拾七文 矢形武志
人日拾五文 矢田与左

△七見所 上り立場
左見久之有

宿 左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●影田所

●一里塚 左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●黒塚

●二津や 左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●石田村

●某所村 左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●茨木川

●長沢村 左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●八幡村

●小之村

●一里村

●豆列強列境 左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●三馬より箱根迄之里共 同登
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●本八百七拾文 同登
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●明三百七拾文 同登
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●人貳百八拾五文 同登
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

●本八百七拾文 同登
左見久之有 所とよに尻
左見久之有 所とよに尻

東海道巡紀

宿

特後八はふ小百有馬中尾ハハの根
府川城小田原十二百七石足柄越の道
小田原十四里有之皆明神光仁帝の時伴源國
之邊り山にハハと教生さんんハハは多
一物はりの教子之文の点 是ハハ
津池東山徒依音之系之邊り

立場

上下の立場
の神茶と云
出日の東町

今井坂

一里塚

赤く系

一の山

下長坂

笹原村

中上長坂

一里塚

山中村

小松本

大松本

右の山は東海がむねと云ふ所の法
庭松と云ふ法松林本と云ふ其
は野へ入る者始く歩むるにむら
ありぬくハハ家と云ふ
上り下り立場あり右と云ふ
是ハハと云ふ
此の山は東海がむねと云ふ所の法
庭松と云ふ法松林本と云ふ其
は野へ入る者始く歩むるにむら
ありぬくハハ家と云ふ
上り下り立場あり右と云ふ
是ハハと云ふ

下立場志願しをたハハの
と云ふ名ハハ柳並柳源宗國寺
坂のハハハハありハハハハ
むらハハハハハハハハハハハハ
馬士ハハハハハハハハハハハハ
ちハハハハハハハハハハハハハハ
大松本ハハハハハハハハハハハハ
上下立場ハハハハハハハハハハハハ
柳並柳源宗國寺ハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハハハハハ

石刻坂 右傍豆の小塚おちりふの成りなり
黄たを新成石刻坂なりと付と云

●一里塚 左松右の本世、
平の上のうがと云

甲石坂 坂中たをわらふと云らると
下り立場へ

ぼく平 山くすりしりし
いふくはうはあがりしなり

伊豆相模境 是れ小田原坂
は雨後をくす

風裁 坂の名あり

赤石坂 峠入口の坂あり

箱根 小田原四里八町 山ろ坂別々
志成あり

相下り 本六百廿七文 回を
石折千平者
大野又たあり

足柄 人三百廿七文
箱根よりハ
ととをり
湯がたり
風を立り
小田原

約立場 上り下りを反大隊あり
右庚申を今と云ふを

宿 山くすりしりし
い者きりしりし人故と云

御關所 中下りの人如切の坂
ゆたう所門を昔と云ふ

御奉行大久保七郎藤門 御到り
石刻坂

新屋

古京

●一里塚 榎木
いふらうやと云

去乃の京 左比佐をさめと云ふ
右比佐をさめと云ふ

湖水 湖水にあうらと云ふと云ふ

須根権現道

光る坂

八所平

白水坂

お玉坂

老う平

てりしに

様す全

お玉坂

まらち坂

●一里塚

白田

大沃坂

大沃橋

女さるに

かりおけ

中すも橋

まらち坂

二のう橋

葛系坂

新道坂

此坂の末の寺に刻まれたる
此坂の権現の石は須根の
街道の十所平に入ると光る坂へ出

たよりた物形の神たすの湯た

坂中へてんまるといふ白水坂の
入はあり

わら下り立場右支庫山老蓋山
たよる坂の末の寺に刻まれたる

續 あつたはたつたの石の刻ま
たよる坂の末の寺に刻まれたる

坂の名は神の石と云ふたあり
曲りてりしに此に似たる名と云

坂名をり
たよる坂の末の寺に刻まれたる

たよる坂の末の寺に刻まれたる
たよる坂の末の寺に刻まれたる

標本
と刻まれたる寺あり

川端の寺は十三丁

一の御門をりて刻まれたる
橋の末の寺に刻まれたる

坂の名ありじりて女のさる
けりありしと云ふたあり

坂の名あり
たよる坂の末の寺に刻まれたる

右薬師座あり
右薬師座あり

又川端の末の寺に刻まれたる
と刻まれたる

たよる坂の末の寺に刻まれたる
たよる坂の末の寺に刻まれたる

たよる坂の末の寺に刻まれたる
たよる坂の末の寺に刻まれたる

右に右のたよる坂あり
たよる坂の末の寺に刻まれたる

猿橋

猿橋は谷川の板通の板橋云々
山の頂上弘法寺のものと云ふ跡あり

一里塚

右板橋松橋
ひきよ此の川口あり名田あり

湯本

上下湯本は左下湯本あり
左湯本あり此は湯本正眼寺し

之板橋

云々有長と云ふ板橋と云ふ我寺跡あり
放生あり云々半きき此條板橋宗祇塚不詳有

山崎村

板橋三つあり左と右の板橋十
八町あり入りりあり

今川

左長無心源泰寺黄泉洗平
源順開基綿葉と云ふ蹟あり

一里塚

榎本

風系

左妙見寺法華宗あり
中下り左湯本あり

板橋村

妙見寺跡あり右垣山天園
は跡あり也左山平川村

右合

右合山豆別製海湯道有是七里

小田系より大塚と四里

いづれあり

本式百六拾文

向か

恒百七拾文

近左の湯

人百二拾文

平井三四郎

城より大塚と保七

岩

地蔵寺あり是是觀のたつたの今
後地蔵寺あり是是觀のたつたの今

東五場

上り下り五場
新田あり

一里塚

右計林あり候小車系あり
と云ふ木の板ありと云ふ候と

山王橋

板橋世間左の山王橋は月夜に
と云ふ候と云ふ候と云ふ候と

山王原

此の原はと云ふ候と云ふ候と

一色村

新田義貞社あり

石橋

け不昔は根柢現の一の石あり
ありと云ふ候と云ふ候と云ふ候と

酒白川 西 名 大 八 名 八 名 八 名 八

酒白川 春公権之夏ハツク一二町
川下大前之妙川左ハツク一丈

酒白村 早川とも古、鞠子川云

立場 右ふまゝ、垣のらち、酒白の立場
と云、下リ立場なり

小八幡 左、古、村、道、又、所、計、り
右、城、と、い、ふ、八、幡、と、い、ふ、所、を、
根、本、右、松、木

一里塚 古、け、り、大、尺

小府新 古、大、池、者、修、り、す、り

土橋 左、大、池、者、修、り、す、り
右、大、池、者、修、り、す、り

前川村 左、大、池、者、修、り、す、り
右、大、池、者、修、り、す、り

町倉村 押切とのらね、糸の月と、左、大、尺
の、道

押切坂 伊豆の、修、り、す、り

押切村 左、大、池、者、修、り、す、り

東西川 古、け、り、大、尺

押切橋 古、け、り、大、尺

一里塚 左、大、池、者、修、り、す、り

梅沢村 左、大、池、者、修、り、す、り

元橋沢村 左、大、池、者、修、り、す、り

塩浜村 左、大、池、者、修、り、す、り

小府新 左、大、池、者、修、り、す、り

小府新 左、大、池、者、修、り、す、り

中井 左、大、池、者、修、り、す、り

一里塚 左、大、池、者、修、り、す、り

立場

下川立場のりこり立場と云
りし條よりあるふ有るが云云
七五

切通地蔵堂

切通に在りし地蔵堂をたがひ
切通と云ふ切通のあり

小磯

此は正にさしつかへなく
西の林の多岐をたがひし
江村のありし地蔵堂のありし
源人のありし文書よりたがひし
地蔵堂のありし文書よりたがひし

大塚より平塚と吉野町
大塚より平塚と吉野町
大塚より平塚と吉野町

大塚より平塚と吉野町

本

三拾八文 四角

人

三拾文 七又文 七又文

西立場

右の地蔵堂より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

需

東立場

右の地蔵堂より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

北

右の地蔵堂より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

●一里塚

一里塚

中

左の地蔵堂より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

花水橋

花水橋より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

元花水橋

元花水橋より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

平塚より吉野町と一里塚

吉野町より平塚

本

三拾八文 四角

人

三拾文 七又文 七又文

需

今

今より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

●一里塚

一里塚より北の地蔵堂
其の流を以て北の地蔵堂と云ふ

東海道

一里塚

馬入河
設
原
馬
入
河

馬入村

右原のいふふと云ふら母は
原のいふふと云ふら母は
と移る平塚のいふふと云ふら母は
又たわす又相俣川といふ

中橋

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

今宿

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

町屋橋

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

町屋村

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

十景坂

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

一里塚

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

四つ倉

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

はしを

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

心き地

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

引地橋

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

車田

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

着込より一里塚と一里世町

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

西立場

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

宿

右のいふふと云ふら母は
橋のたささこの河

東海道

五十六

東海道

五十六

若菜橋

板橋十三橋流し江の邊種金以く
ろと川用と通う赤坂原を流し
下左場右と大木神社有
又此の坂と云

●一里塚

板本

中下宿

新取村

右が此の邊を分岐と云
右に下りて下りて道

けし宿

右大塚村右ありてその所を
流し流村

●一里塚

板本

大坂

此坂の石三ツを右坂二番大坂
一番大坂と云ふも右坂の略也

三塚より程谷と二里九町

本百九文

同右

九拾文

右坂之なる

倉庫
郡人六十九文

河原及たら
戸開の者と云

●八人宿

右八人の邊有

宿

板橋右の西二ヶ所とて下り
右吉田町を流す所と云ふも

吉田橋

東出たはの特まらうた吉田二里
上下左場とてを流す二里半

●一里塚

板本

河原橋

●吉田町

右ふらうる流す二里
又右より

下
かき

いへり大木への道と云
毎二里

●吉田

上板尾ともふ
赤岡橋とけし

●吉田

右社系ふ八まん山あり
右流すも右を流す守かきと云

●吉田

●吉田

坂つ道よりとらたたり
はりて吉田の坂と云ふ

東海道路記

五十六

●一里塚 左橋本
右うづま

屋宿坂 石中村
屋宿村より

中 焼餅坂 坂中少しなりや一軒の飯屋あり
道傍にころもころも此方り
塚本より云下り立湯

境上村 左橋本屋宿村

式列相列地

少人田坂 道は外より引こら此方り

元町

去橋 橋あり

経谷より神奈川と二里九町道

或は 本六十里又 回登

樹 柳 柳十数又 派と湯
人 三十二又 九つをり

和立場 上立湯かりと橋あり

●二里塚 水道橋まで今以道
右岸

宿 ひとへちや新町のいふ名なり
以てあふ年新町一志小橋あり
左表之者一人街道付りたうも
十八右橋本合はた二里路

柳 柳十数又 派と湯
人 三十二又 九つをり

追分村 全う大か不意に外道(Shenji)

中 ●一里塚

芝生村 左橋本の文有るを右の
りふ人見しそり有

源武彦 素坂は直かり

神奈川より川崎と二里半 坂あり

郡 本 百五拾文 回登

上 月 九拾文 派本屋宿
人 七拾文 石井屋宿

西立場

此は神奈川と云ふは... 右側ありて好む... 左津のえ大内津官舎やの西小

青木所

かき入橋むき... 上り下り立場かり新町と云ふは... 橋の白き板の沖三十二天の兼有

●二里塚

右より橋をえ見か... 右ありや... 板より西橋橋より左へ子あ文

新町

板より西橋橋より左へ子あ文

八川村

板より西橋橋より左へ子あ文

子あ村

板より西橋橋より左へ子あ文

●二里塚

板より西橋橋より左へ子あ文

露色橋

板より西橋橋より左へ子あ文

●二里塚

板より西橋橋より左へ子あ文

市場村

板より西橋橋より左へ子あ文

八町縄子

板より西橋橋より左へ子あ文

川邊より

板より西橋橋より左へ子あ文

西立場

板より西橋橋より左へ子あ文

川邊

川邊

川邊

川邊

比治寺 在石川第師乃其基作在末代あり
乃本寺ありとけりて橋二つあり

新名 ありまうこと云

磯田村 ありまうこと云
知大衆寺大衆は同に八幡と云有
右ありまうこと天津社と初基坊

大衆村 在池之乃 ありまうこと云
後本大衆村のありまうこと云

中 二里塚 ありまうこと云
長業寺古田日蓮上人所為の地
後老教授の初日幡上人基の舎

大池道 ありまうこと云

石川村

文計村

玲々家 在平之文計村に次在石川に神名帳
に盤井の神社と云下りあり
在神の社有 ありまうこと云

濱側 ありまうこと云
橋あり川ありありまうこと云

石川

石川の河原白木橋近二里

武列 本百式拾文 回金 櫻井寺あり

原 了七拾九文 人六拾五文

親音堂 ありまうこと云
下りありまうこと云

妙因寺 法花寺池上あり

宿 旅宿ありありまうこと云
山中の寺ありまうこと云

石川 ありまうこと云
分山ありありまうこと云

東福寺 ありまうこと云
縮着社 庚申堂

太子堂 同摩堂 瑞命寺あり

寺 ありまうこと云
泉系寺 ありまうこと云

牛町 ありまうこと云
ありまうこと云

大津之紐

芝の熱門と云ふ下り立湯有り
田所九丁目高日橋と四十七丁
七町あり在之田八里は遠郷寄なり云

中田町

田町四丁あり

元札辻

左道有三田通かり 一丁之田
四間あり南をなまきと云

芝橋

金板橋

十二丁四町

濱松町

四町五一町あり後町西に三塚山
増上寺西茶屋人田基吉氏五丁石
西へ八社明文飯会神の云々あり
飯会にあり云々

神内町

字田川橋

三田川町芝井町落月町

源助橋

三間あり今川も廣水と稱するも
く有花の此所を浮し此橋川云々
拾五間沖制れり法板くあり之
は見附と今在垣計あり

新橋

系橋

日本橋

左御城より貴と仰る貴と仰る

後赤部江尾行程合尺拾四里半拾五町
下り本馬路橋より貴と仰る 但し外也

権尻たえん 四貫式百拾七丈 日断

人足たえん 三貫式百拾七丈 日断

本馬路橋より貴と仰る 日断

権尻たえん 四貫式百拾七丈 日断

人足たえん 三貫式百拾七丈 日断

本坂越の道法 并 諸傳付

油 油油のりおれいまに云々あり
油油のりおれいまに云々あり
油油のりおれいまに云々あり
油油のりおれいまに云々あり

三日 日本馬路百貫の文
乳加 権尻たえん 四貫式百拾七丈
本街道二里計のりあり

見附 本街道二里計のりあり
見附 本街道二里計のりあり

鳳来寺道之記

鳳来寺道之記 鳳来寺の山頂にありて
鳳来寺の山頂にありて... 鳳来寺の山頂にありて... 鳳来寺の山頂にありて...

油二町 大木 二里 新堀 三里

鳳来寺 油二町より鳳来寺... 三里

林葉山 三天坊 道之記 鳳来寺の山頂にありて...

大野 三里 大野 三里 石打 三里

石打 三里 石打 三里 石打 三里

成美 三里 成美 三里 成美 三里

子方 三里 子の市 三里 子の市 三里

掛川 三里 掛川 三里 掛川 三里

江戶より京大阪返道中記

江戸 三里 江戸 三里 江戸 三里

武里 三里 武里 三里 武里 三里

和川 三里 和川 三里 和川 三里

河津 三里 河津 三里 河津 三里

二里 三里 二里 三里 二里 三里

新川 三里 新川 三里 新川 三里

一里九町 三里 一里九町 三里 一里九町 三里

根谷 三里 根谷 三里 根谷 三里

武里町 三里 武里町 三里 武里町 三里

東海道通記 東海道通記 東海道通記

十塚 本百拾又

一里町 本七拾又

藤沢 本八拾七又

三里中 本百拾又

平塚 本百又

武十七町 本百又

大磯 本百又

四里 本百又

小田原 本百又

四里町 本百又

箱根 本百又

三里 本百又

九里 本百又

三河 本百又

一里中 本百又

沼津 本百又

一里中 本百又

原 本百又

三里中 本百又

古原 本百又

二里中 本百又

蒲原 本百又

三里 本百又

由井 本百又

二里中 本百又

三里 本百又

東海道巡遊記

大磯のこゝは東の陽坂

後沢の内に橋

右の道は三原に寄

る由は三原の村に

東由は三原の村に

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

三原の村に寄る

奥津

本六拾一丈

若入口石は長宗の

三所

本七拾一丈

土三里と云ふは

江尻

本百六拾一丈

久久能山乃二里者

府中

本七拾一丈

三保山乃三里者

一里

本六拾一丈

新田三右衛門

九子

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

二里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

藤枝

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

三所

本七拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

一里

本百六拾一丈

あけ川乃二里者

淡松 千六百十文

二重子 千七百七文
人七十九文

藤坂 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

浦上里 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

新居 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

一里寺 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

田次 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

一里寺 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

二川 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

一里寺 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

香田 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

二重子 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

又井 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

十吉町 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

赤坂 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

二重子 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

藤川 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

一里寺 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

岡崎 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

三重町 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

比叟 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

二重子 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

鳴海 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

一里寺 舟一艘三百九文
一人舟中と
八人舟中
人七十九文

香井繩は十八町
言はるる人並に
る部には花さか
衣いかりの表

むし八陸地なりし
ゆ魚のつらつら
今切らふふふ
の山なり

くしり村えは
地見返遠列七十五
あささる舟の目
ちやうとらうら

さうさう場三列
のゆいびりお
二川と一里の
か

大岩村火打坂
観音堂の山
夕暮村石を山

八幡文六月小
立湯小かくし
名か香田入る

又井川と
いこけり
委つ面の
山長福

長原系
三村山と
浅うめ

又井川と
本平川
かうや川

松葉
舟一艘
舟一艘

舟一艘
舟一艘
舟一艘

舟一艘
舟一艘
舟一艘

宮

海三七〇

粟名

三里市

四日市

二里市

石巻

廿七丁

大野

貳里

龜山

一里半

関

一里市

坂下

二里市

大田

二里市

水口

三里市

石巻

二里市

三里市

三里市

各々人ち六十に又
ひろきね三高飛又
高ひね高飛六十に又
下りまき高飛六十に又
下りまき高飛七十に又

佐々巴り
宮川 粟塚 半乃 石巻
半九 神守 九丁 佐佐 川
粟名 中乃 丹之 十之
下りまき 高飛 七十に又

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

町庄川 川 鶴 気 川 東
道田 蛤 名 老 川
川 四 日 市 川

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

右 石 巻 野 上 山 向 後
と 下 死 赤 葉 浦 冠 之 社
有 之 之 文 村 亦 人 之 志

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

廣 下 赤 葉 川 坂 下
七 十 乃 川 合 川 一 上 三 乃
和 田 村 神 戸 白 子 道

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

の 二 系 々 赤 葉 川 之 志
大 野 寺 僅 子 園 川
小 野 村

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

勢 勢 之 神 文 赤 葉 川
比 志 之 産 名 赤 葉 川
勢 勢 之 産 名 赤 葉 川

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

流 赤 葉 川 赤 葉 川
有 勢 勢 之 産 名 赤 葉 川
坂 下 赤 葉 川

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

松 之 川 大 野 小 野 名 知
い 赤 葉 水 赤 葉 川
い 赤 葉 水 赤 葉 川

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

着 之 乃 名 知 横 田 川
吉 長 弘 法 之 乃 名 知
大 野 之 枝 二 乃 名 知 見

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

全 山 梅 木 村 中 野 村
名 知 之 乃 名 知 小 野 村
今 之 乃 名 知 小 野 村

百九拾又
百七拾又
百六拾又
百九拾又
百七拾又

本 野 乃 近 方 有 勢 勢 之 志
玉 水 勢 勢 乃 大 野 九 十 六 乃
小 野 乃 近 方 有 勢 勢 之 志

東 海 道 志 記

大津
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五
京都
八町三の町井ノ森
八町三の町井ノ森
川谷つ二番若原村
尾ヶ原もつたる
口田川橋三番太

大津より大坂近道中記

大津
町武百廿五
人百拾五
伏見
町百拾五
人百拾五
淀
町武百廿五
人百拾五
牧方
町武百廿五
人百拾五
大坂
町武百廿五
人百拾五

岐穂路道の記

京都
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五
大津
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五
三里
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五
一里
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五
守山
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五
武佐
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五
二里
本武百廿五
町百廿拾五
人百拾五

東海道巡遊記

電河

本八拾又
町五拾又
人四拾又

うら河
方緒
うら町
うら川

高宮

本六拾三又
町四拾二又
人卅四又

高宮大宮(卅一丁)
高宮(卅二丁)
小野村(卅三丁)
高宮(卅四丁)

名井

本四拾九又
町三拾八又
人二拾三又

名井(卅一丁)
名井(卅二丁)
名井(卅三丁)

藁馬

本四拾又
町九又
人廿又

藁馬(卅一丁)
藁馬(卅二丁)
藁馬(卅三丁)

醒井

本六拾又
町四拾又
人三拾又

醒井(卅一丁)
醒井(卅二丁)
醒井(卅三丁)

柏原

本四拾二又
町九又
人廿九又

柏原(卅一丁)
柏原(卅二丁)
柏原(卅三丁)

今次

本四拾二又
町二拾九又
人廿又

今次(卅一丁)
今次(卅二丁)
今次(卅三丁)

園系

本六拾一又
町四拾又
人三拾又

園系(卅一丁)
園系(卅二丁)
園系(卅三丁)

密井

本五拾二又
町三拾四又
人廿六又

密井(卅一丁)
密井(卅二丁)
密井(卅三丁)

赤坂

本八拾九又
町五拾八又
人四拾五又

赤坂(卅一丁)
赤坂(卅二丁)
赤坂(卅三丁)

美野

本四拾七又
町三拾一又
人四拾四又

美野(卅一丁)
美野(卅二丁)
美野(卅三丁)

河渡

本六拾七又
町四拾四又
人三拾四又

河渡(卅一丁)
河渡(卅二丁)
河渡(卅三丁)

一里

本六拾七又
町四拾四又
人三拾四又

一里(卅一丁)
一里(卅二丁)
一里(卅三丁)

東海道通記

六一

加納

城下安着右系道

信長城は有後山
と云ふ山と云
むいふ山と云

鶴浜

かひ山を峰屋
一里半ありと云ふ
とて吉田川の谷
中を流るる

二里

吉田川を流るる
此川の末は吉田川
の谷に流るる名護
谷と云ふ道あり

吉田

けり小山式部の山
流ありと云ふ

伏見

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

一里

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

三里

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

細谷

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

一里半

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

大井

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

二里

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

中津

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

一里半

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

落合

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

一里半

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

馬籠

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

二里

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

美濃

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

一里半

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

一里半

けり可児の太寺
又合に九合と云ふ
山ありと云ふ

凡その

二里半

野尻

一里半

須原

三里半

上松

二里半

福嶋

一里半

宮城

二里

新原

一里半

水山

一里半

熱河

二里

本山

二里半

洗馬

一里半

塩尻

三里

本百廿七又
八拾八又
人六拾二又

本九拾六又
七拾二又
人四拾八又

本百五拾一又
百二又
人七拾七又

本百四拾八又
八拾九又
人六拾八又

本七拾七又
四拾九又
人三拾九又

本八拾二又
五拾四又
人四拾二又

本七拾七又
四拾九又
人三拾九又

本七拾七又
四拾八又
人三拾七又

本九拾四又
五拾一又
人四拾七又

本七拾七又
四拾七又
人三拾七又

本七拾三又
四拾八又
人三拾七又

本百六拾八又
七拾八又
人七拾八又

坂及中物たつん橋
かてへ坂三田村を
に坂寺川橋の橋
横にたつ

又清相今井村を
子初ノ石城迄
船の村園台一室あり
延いふ川大橋

小柳川橋の今井村
かたの橋の橋を浦
清原の村の橋を
まゝの如くは語を居

山崎の村を并出の
川為合本寺の山崎
かたの橋の橋を浦
高下を原の橋を

物なけり今井橋は
の城改今井の山崎
しかり

山崎新巴が山崎法上
山を之の尾の山崎
義仲とある山崎村

本寺川を以て此寺
流を以て以て山崎
山崎寺の山崎を
山崎の山崎を

中ノ山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を

山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を

山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を

山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を

山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を
山崎の山崎を

下飯沼

一里

和田

二里

長之保

一里

善面

一里

至月

廿二町

八ヶ

一里

場

一里

岩野

一里

小田井

一里

追分

一里

皆掛

一里

極楽

一里

一里

八ヶ

本三石五拾又
町貳百廿八又
人百七拾又

本八拾四又
町五拾六又
人四拾二又

本六拾又
町四拾又
人三拾又

本四拾七又
町三拾又
人廿四又

本三拾四又
町廿二又
人拾七又

本二拾又
町一拾又
人拾又

本五拾二又
町三拾四又
人廿六又

本四拾七又
町三拾一又
人廿四又

本四拾九又
町三拾二又
人廿六又

本四拾二又
町廿九又
人廿七又

本四拾四又
町三拾又
人廿七又

本百八拾又
町百廿五又
人八拾八又

下飯沼より追分二里
又吉田より追分二里
奥に温泉と田作
と云ふ所あり
西に川あり

石原坂と云ふ名
あり

一里より追分二
里と云ふ所のあり

りくはま
あり

下飯沼より追分
二里あり

追分より二里あり

追分より二里あり
追分のありは地
と云ふ所あり

追分より二里あり
追分のありは地
と云ふ所あり

坂本

本百七又
町六拾又
人五拾又

二里

本九拾又

一里半

町六拾又
人四拾又

栗中

本二拾又

三丁

町七又
人十又

板鼻

本七拾又
町四拾又
人二拾又

一里半

本五拾又
町三拾又
人十又

高湯

本五拾又
町三拾又
人十又

一里半

本六拾又
町四拾又
人二拾又

今川の

本七拾又
町五拾又
人十又

新岩

本七拾又
町五拾又
人十又

二里

本七拾又
町五拾又
人十又

本庄

本七拾又
町五拾又
人十又

二里半

本七拾又
町五拾又
人十又

深谷

本七拾又
町五拾又
人十又

二里半

本七拾又
町五拾又
人十又

熊谷

本七拾又
町五拾又
人十又

四里半

本七拾又
町五拾又
人十又

鴻巣

本七拾又
町五拾又
人十又

一里半

本七拾又
町五拾又
人十又

桶川

本七拾又
町五拾又
人十又

横川の道不如此
右の道は白土
云々の道は
通傍小川合流
の山の間を
通す此の
段の首と云
はたきと段
妙義山石方
確川

川城之内
うま川

八幡寺
鎮村あり
かき川

川うり
とてうり
り

同光道
り

切子川
はなり

甲府
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

多摩川
り

上尾 本七拾八人
町五拾二人

重今 人九十九

大文 本五拾一人
町五拾二人

一里寺 本五拾一人
町五拾二人

浦和 本五拾一人
町五拾二人

一里寺 本五拾一人
町五拾二人

〇〇〇 本五拾一人
町五拾二人

重八丁 本五拾一人
町五拾二人

板橋 本五拾一人
町五拾二人

二里 本五拾一人
町五拾二人

見本橋 本五拾一人
町五拾二人

折橋合百拾五里十丁
六十九次

本馬六里寺百六十五人
〇〇〇四里百七十五人
〇〇〇三里百七十五人

中仙道水記

東津 本馬六拾八人
煙尻四拾五人

一里半 人五十三拾四

守山 本百四拾八人

三里半 本九拾二人
人七拾八

武佐 本百六十八人

二里半 本六拾七人
人七拾八

越前 本八拾八人

二里 本六拾七人
人四拾八

高宮 本六拾七人
人四拾八

一里半 本六拾七人
人三拾八

砂川有流井村隈川
村又の川と云ふ川

村中村小三全注首
村多まき村合宿

安川村夫の川川條
系村の橋は不鳴の池

流石に吾々も川
俵園川

十二社校現高性東村
大塚村は村に三村

三村やまよふ川一
城和川乃の川

中宿、七川橋を分橋
橋廿一四十九院村

ら町は川と云ふ川
川又と云ふ川

多賀大明神を井尾
正町入り大塚村小

以村小町の川

名井本

本四拾七人

やう橋各五上里
井有廢井洋開水
見渡風景一竹
生竹苑小苗

一里寺

本二拾六人

く思ひ工橋
たみみせに樋口
牛形八何

一里

本九拾七人

碓井の小日本武吉橋
うき有碓井橋
あの中四二風味
たの川二水渡

一里

本六拾一人

英徳を以て依廢四
法の里と云車延
坂

一里

本四拾二人

山中里森内不常盤
ひらけ浮不破の園
法蓮寺

一里

本九拾九人

八八法境川小紙本
乃と世市川

一里

本四拾七人

正徳勲一等金吾美作
寺井有江原二百石
室山右衛門河川を
の越坂初見の川
有と世川

一里

本八拾二人

之田宋女渡十石
城下之石川川橋村
照子娘のうらわ象
れ文とり

一里

本七拾五人

下の中川大行橋渡
坊川尾越川大の
舟ワケ

一里

本五拾五人

西森系村吉田村二
橋板一廿石

一里

本二拾七人

梯尾之木中橋石
橋村本又村系
す

一里

本六拾二人

以れ橋七曲り
僅小松並本有写
石系やあり

一里

本四拾七人

一里

本九拾九人

一里

本七拾五人

一里

本八拾二人

一里

本四拾七人

一里

本二拾七人

一里

本六拾一人

一里

本九拾七人

一里

本四拾二人

一里

本七拾五人

一里

本五拾五人

一里

本二拾七人

一里

本六拾一人

一里

本四拾二人

清須

本七拾八丈
程又拾二丈

發見清須の古橋
飛三石の古橋を十
八石と記す

一里

本六拾七丈
程四拾四丈
人二拾四丈

名古原の城址
町に近き井二口
藝田大明神神社

官

尾別 名古原の古宮跡 伏見近道跡 借宿

名古原

本八拾
程又拾二丈

額田

名古原

本八拾
程又拾二丈

伏見

名古原の古宮跡 近道跡 借宿

名古原

本八拾
程又拾二丈

坂下

門津

本八拾
程又拾二丈

言山

と紀

本八拾
程又拾二丈

大井

東より略列参官

園一と田二拾五

園

窪田

本八拾
程又拾二丈

津

重津

松坂

小俣

山田

中河原入口に常夜燈あり
其本乃松は是京街道の
○大間度法者○のく
○大間度法者○のく
○大間度法者○のく

多賀社修験道太山道

多加^世町 高文^二里 然智^二里 白市^二里
国本^半道 石原^二里 貝掛^二里 出山

信別善光寺道記

本寺詣と善光寺
に兼詣しむる
かゝるのれなり

洗石^一里 江原^一里 村井^一里 松本^一里
可

栗田^一里 七町 栗原^一里 十町 倉田^一里 青柳^一里
寺

松本^一里 宿志^一里 大谷^一里 近光^一里
七町

善光寺^一里 丹波^一里 代^一里 六倉^一里
寺

上田^一里 田中^一里 小諸^一里
寺

追分 是より本宿街乃善掛野井はと優く

相列太山道の記

長江尾系湯殿の太山道
より入山四合子あり

四谷^一里 高田^一里 一文^一里 田
あり

村川^一里 八川^一里 田村^一里 横打^一里
あり

下谷^一里 修験^一里 寺^一里 子安

村 大山の標より是と五里
是より坂あり是より善光寺 前不動明王
あり

不動明王本殿 五拾

尾尻大竹

一の口 二 沢川 中村 前川

小田原 此山を門部村と云ふ寺あり

尾尻大竹

一の口 二 沢川 中村 前川

小田原 此山を門部村と云ふ寺あり

別
善光寺
吸光寺
と又
と又
と又
と又

浪江戸目光山道法 卅二里町

江戸より二里 上野末 千代より二里 拾五町

るかより二里 拾五町 越後より二里 卅二町

柏原より二里 枚原より二里 卅二町

赤中より二里 前 粟積 赤中より二里 下野下

中田より二里 古川より拾九町

野木より二里 間々田より二里 下野下

小山より二里 茅加新田より拾九町

火立井より二里 石橋より二里 卅

崔宮より二里 前 宇津宮より二里

那波より二里 徳之倉より二里 卅

大澤より二里 今井より二里

日光山 より二里 中野寺へ二里あり

熱海入湯之記

二嶋より熱海と二里 切人の沢と坂あり

豆別荘 高中橋左の街より有町中

大湯村 中橋村より一人家あり

平井村 二嶋の村より二里と平井村あり

日金山 大湯の村より二里と日金山あり

熱海の

温泉味香、ふんわり、海をこぼる、湯を飲

六の町、つり、つり、つり、つり、つり、つり

沸ふとて、つり、つり、つり、つり、つり、つり

郭の町、つり、つり、つり、つり、つり、つり

の湯、つり、つり、つり、つり、つり、つり

湯けり、つり、つり、つり、つり、つり、つり

三丈さやう凡はるこつひ夜了湯あけ種して
凡入湯す 主治中風証眩暈疾飲々食不進
眼病頭痛脚氣筋攣跌扑折傷諸瘡寸白脱肛痔
漏淋病等齒牙之疼 會言泉妙之金瘡創初
愈者可忌生熱湯入之 八股池入熱湯 治力
凡浴後食進 咽喝之功 得之効 浴す
の効 凡眼腫赤爛 患凡温泉不可飲
之 凡湯名と時 凡涌法 涌湯名と時 凡湯
野中湯 川湯 水湯 凡湯 湯の湯
上古之温泉 凡海濱あり

錦巖窟 觀音窟 南の海に近く ありて
其名 盤石 ありて 念仏 凡海濱あり
湯前推現 上町 有今之權現 七面大明神 本之
大明神 天神社 村を 凡修 凡ありて ありて
古之井 泉 凡豆權現 西北 ありて 有人 凡ありて
温泉 凡海濱あり 凡修 凡ありて ありて ありて

伊豆御山 駿海女八町之山 走湯 凡別當院
御本殿 嚴重之石海の街道 凡石壇 ありて ありて
凡ありて 龍の山下 又湯の又 凡ありて ありて ありて
湯の湯 巖洞 凡ありて 海濱 凡ありて ありて
走湯 凡ありて ありて ありて ありて

彫て湯と 凡ありて ありて ありて ありて
湯湯 凡ありて ありて ありて ありて
ありて ありて ありて ありて ありて ありて
ありて ありて ありて ありて ありて ありて
鳴沢村 川 一里 ありて ありて

門河村 ありて ありて ありて ありて
去肥のり 淡 凡ありて ありて ありて ありて
川 凡ありて ありて ありて ありて

民多あり 凡ありて ありて ありて ありて
地 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
土 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
右 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
左 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
河堀村 本 凡ありて ありて ありて ありて

石切場 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
赤沢村 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
村 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて
海 凡ありて ありて ありて ありて ありて ありて

繪の浦村

根府河村八十町
ふら藤竹の上坂

根府川村

而蝦あうやとありやも旅舎園を焚く
米のみと女問ふゆはあふた福せう

御園所

根府川根ら 拾圓が七曲りの坂あり
ゆへに坂のゆるく傍にゆへに坂をた

糸の村

ふ根府村十町 山坂入てまき道重
ひり空海は村よりをゆへに村

ありともや子依か持しゆひ水と根にまより
いふは村らありと根とさうりや能まか生本
さかひとりふり内の人まらふ村 二町あり

石橋村

早川村 八町 海邊に度凡家あり
石橋の浦兼早川村に根府の湯あり

と然ひ依の田と三町あり身あふまをたて村
たのひの二町あり又字にこころふりてふた
湯のたて三町あり早川村にありと根に

早川村

早川村七町あり 早川の橋あり
いりふりありと二町ありの早川

かろあり一川あり二町ありありて
早川とあり早川ありとありあり

小田原宿

箱根七湯免々

箱根権現坂たの芦の湯道台院あり
又六町ありたの生花の池あり約

道と右大なるれぬ湯ありとた湯の池
にありと右の石橋の池の上りたの池あり

たの湯と空海の池多田海仲公代石橋十二の
菩薩と名に根府の湯一軒あり身あふ

てまの湯とありまの湯とありとあり
庚申湯とありまの湯とありとあり

若の湯

若の湯是れは湯を早川村の湯とあり湯に
二三とあり切て有温泉味わら湯とあり
湯とあり病時田虫の湯とあり湯とあり
とあり湯とありとあり湯とありとあり
ちろくとあり湯とあり湯とあり湯とあり
湯とあり湯とあり湯とあり湯とあり

乳突の湯底倉平なる上湯大滝子の湯岩
 湯四ヶ所温湯あり一處はけし舟中凡が
 底倉の湯又の下二箇中じり比表と名今も
 不浄なる湯は凡が早終り肉湯ニケケ
 又の上湯底倉と名候と云はれ又上湯湯
 堂の湯塔の沢を里木也湯ニ不潔之因
 湯より温湯よてもなほ冷病のへき湯
 塔の沢湯湯平十町七湯の内才一に比表一
 湯あり本倉より凡が湯候と云はれ湯へ
 一湯路とて之也ニ本と云はれ湯七 本と云
 而此地之道に凡が湯の湯家列凡が
 湯をの湯湯の内を往切上湯中湯湯之湯湯と
 下二箇湯七ニ本と程湯毒の湯を入之
 早午を以て方下田四ノ一に取捨の方下田計
 之と云はれと通橋の表候と云はれ湯へ

浜江戸郡門道為松道志

日各橋 五里 高井戸 二里
 石系 堂府中 武里 日野 武里
 金子 武里 駒木野 二里上
 小原 武里 高野 武里
 上系 武里 鶴川 武里 野田尻 武里
 松目 武里 高沢 武里 榎橋 武里
 約橋 武里 大月 武里 鼻湯 武里
 初丁 武里 高沢 武里 湯沢 武里
 猪沼 武里 粟系 武里 石沢 武里
 甲府 四里 高沢 武里 切石 武里
 下山 七里 高沢 武里
七里三三里有坊う石洲十二
 石系から道十二里有

甲列身延山道の記

奥平身延二
十三里身延より
岩淵二十里余

真津

かゝ尻百七拾文

八幡の原横山坂の坂村下三丁より坂
毎に坂あり奥平川下八丁川生背利坂
遠坂小坂より坂あり系に坂あり

寛原

かゝ尻百拾七文

寛原の原七丁太田園道より長津峰より
坂あり坂あり一丁の原系より坂下り口
此分利一里は有楽園天身延方岩淵坂

百沃

かゝ尻百拾貳文

百沃は小坂和女切より坂あり坂あり
坂あり之風系より坂あり坂あり坂あり
此分利一里は有楽園天身延方岩淵坂

南部

かゝ尻百拾貳文

百沃の原より坂あり坂あり坂あり坂あり
川あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり

身延山禁

三里

身延山門天守閣より大坂を控禦し身延
川あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり

三里

南部

三里

南部の原より坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり

百沃

かゝ尻百拾貳文

百沃の原より坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり

松野

かゝ尻百拾貳文

松野の原より坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり

岩淵

かゝ尻百拾貳文

岩淵の原より坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり
坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり坂あり

高之町

尾花屋惣右衛門

乃木町

後田屋久左衛門

大沢町

中屋十右衛門

錦町

天海屋平兵衛

四郎町

越前屋又右衛門

平野町

江戸屋源次郎

四幸町

尾花屋吉左衛門

乃木町

尾花屋七三郎

平野町

市屋徳兵衛

乃木町

尾花屋小左衛門

谷町

多田屋清右衛門

乃木町

江戸屋吉左衛門

寛延四年未 孟春

大坂 心齋橋筋

河内屋茂八

同所

柏原屋清右衛門

江戸 通本町三丁目

十軒店

西村源六

山崎金兵衛

安永五丙申 春改正

38-750

